

平成 30 年度胆振管内観光入込客数の状況について

令和元年（2019 年）7 月
北海道胆振総合振興局

【概要】

平成 30 年度の観光入込客数は 15,959.1 千人で、前年度（16,984.9 千人）と比べて 1,025.8 千人の減少（前年度比 94.0%）となりました。

減少の要因として、9 月に発生した台風 21 号や胆振東部地震による宿泊者数の減少、アイヌ民族博物館の閉館（H30.4）、ゴールデンウィーク後半や7月の天候不順などにより集客効果の高いイベントや施設での入場者数が減少したことなどが影響したと考えられます。

一方で、管内市町における行催事や大型客船の入港による観光客数の増加、新規に就航した宮古室蘭フェリー（H30.6）の旅客数が堅調に推移しています。また、道内での宿泊代などを割り引く「北海道ふっこう割」の利用者の増加や、被災地支援のために管内を訪れたボランティアなどの影響もあり、前年度入込客数の回復までは至らないものの、11 月以降は前年度並みに持ち直しています。（資料 1）

（道外・道内別）

道外・道内別では、道外観光客は 5,766.3 千人（構成比 36.1%）で前年度から 609.5 千人の減少（前年度比 90.4%）、道内観光客は 10,192.8 千人（構成比 63.9%）で前年度から 416.3 千人の減少（前年度比 96.1%）となっています。（資料 1）

（日帰り・宿泊別）

日帰り・宿泊別では、日帰り客数は 12,982.9 千人（構成比 81.4%）で前年度から 929.3 千人の減少（前年度比 93.3%）、宿泊客数は 2,976.2 千人（構成比 18.6%）で前年度から 96.5 千人の減少（前年度比 96.9%）となりました。

宿泊客延べ数は 3,175.5 千人泊で、前年度から 140.0 千人泊の減少（前年度比 95.8%）となっています。（資料 1）

【資料 1】平成 30 年度胆振管内観光入込客数内訳

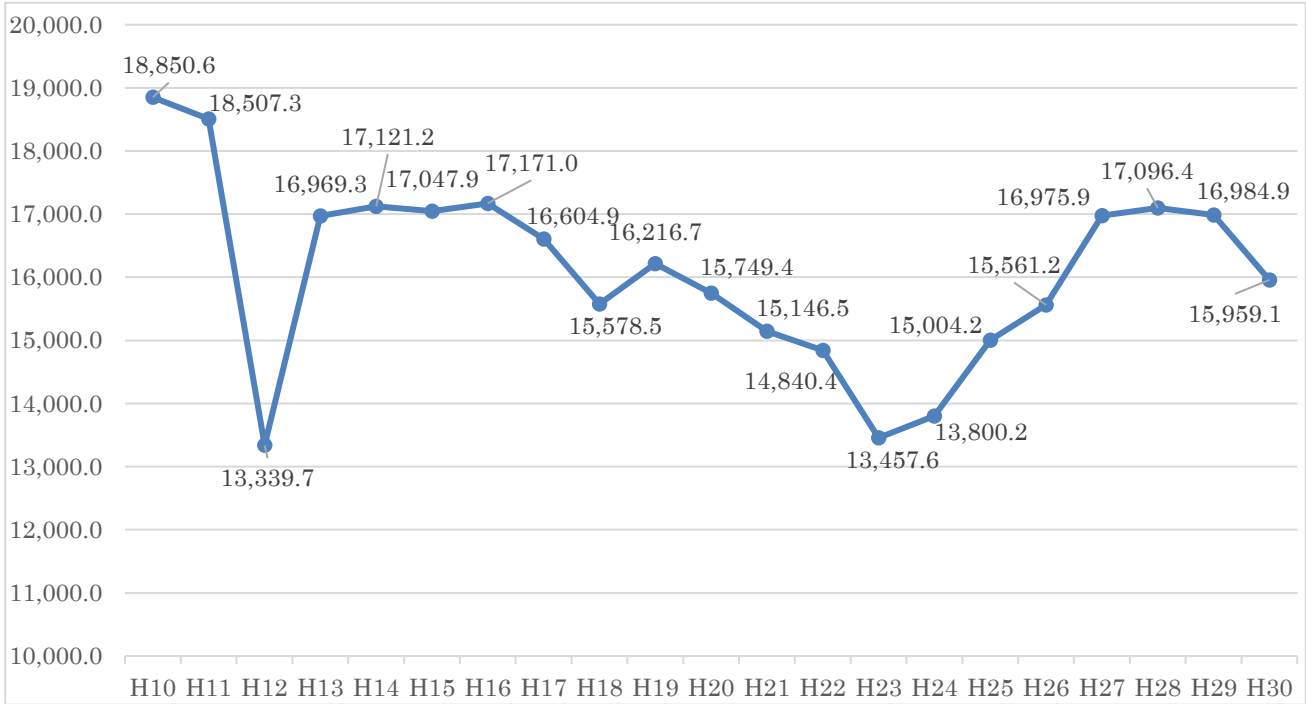
（単位：千人、千人泊）

区 分		平成 30 年度観光入込客数		前年度比	前年度からの増減数
			構成比		
道内・道外別	道外客	5,766.3	36.1%	90.4%	▲609.5
	道内客	10,192.8	63.9%	96.1%	▲416.3
日帰り・宿泊別	日帰り客	12,982.9	81.4%	93.3%	▲929.3
	宿泊客	2,976.2	18.6%	96.9%	▲96.5
入込総数（千人）		15,959.1	100.0%	94.0%	▲1,025.8
宿泊客延べ数（千人泊）		3,175.5	—	95.8%	▲140.0

参考として、平成 10 年度からの観光入込客数の推移【参考資料 1】と平成 28 年度からの 3 カ年における観光入込客数の月別の推移【参考資料 2】を添付しています。

【参考資料1】胆振管内観光入込客数の推移（H10年度～）

（単位：千人）



【参考資料2】胆振管内観光入込客数 月別の推移

（単位：千人）

